



赤磐市の食「桃」

県内でも有数のフルーツの産地。7~8月にかけての白桃の収穫時期には周囲に甘い香りが漂う。清水白桃や白鳳など、そのまま食べるのはもちろん、コンポートやワイン、リキュールなどに加工され、様々な形で楽しめる。

赤磐市は、子育て支援総合窓口が開設され、認定こども園が開園するなど、妊娠前から高校卒業までをトータルでサポートする体制が整っている。移住コンシェルジュが常任し、いろいろな相談にのってくれるほか、おたのしみ住宅も整備されている。

白桃などのフルーツから日本酒やワインまで 特産品の多い恵まれた場所。

column #2 岡山の就職事情は？

移住と並行して考えるのが、移住先での就職口。もちろん支援制度はあるけれど、岡山での仕事探しに明るいニュースが！

岡山労働局のデータによると、2017年3月の岡山県の有効求人倍率は1.71倍。全国平均1.45倍を上回る全国7位と高い。産業別の新規求人数では卸売・小売業や運輸業・郵便業が増加していて、前年同月比14.0%増と好調。仕事選びの幅が広がろう。



津山市の食「つやま和牛」

古くから子牛を全国に出荷してきた津山の畜産農家が平成28年に誕生させた、等級3以上の肉質の牛だけが認定される「つやま和牛」。津山産小羊「フスマ」を300kg以上与えられて育ち、良質の脂を蓄え、やわらかくうま味の深い牛肉。

お城の桜が有名な城下町。山陰や関西の文化も入り、まち暮らしと田舎暮らしが共存。日本三大平山城のひとつ津山城がシンボルで、江戸時代のまちなみが残る城東地区など美作の国1300年の歴史を今も感じられる。人口10万人を有する都市としての生活基盤と、歴史文化や自然環境がバランスよく調和しており、便利なまち暮らしとどかな田舎暮らしが両立できる住みやすさがある。中国自動車道のI.Cから大阪まで約2時間、広島まで約3時間と大都市へのアクセスも良好。東京や韓国への定期便が飛ぶ岡山空港へは車で約1時間で行くことができる。江戸時代から明治時代にかけて優秀な洋学者を多数輩出し、その流れで現在でも多くの病院が存在し、高度医療機器を備えた救命救急センターもあり、医療機関が充実している。市街地には工業団地が数多くあり、様々な働き方を選択できる。

1 中学生以下の医療費無料化(高校生は1割負担)など、子育て支援が充実

2 「健康・急病相談ダイヤル」24時間対応

3 家賃補助で新婚世帯をサポート

4 星が瞬き、蛍が飛び交う豊かな自然

5 地震が少なく、安全・安心

関東から赤磐市に移った先輩移住者が「移住コンシェルジュ」としてあなたの移住を全力でサポートします。お気軽にご相談ください。(赤磐市移住コンシェルジュ 糸曾真由さん)

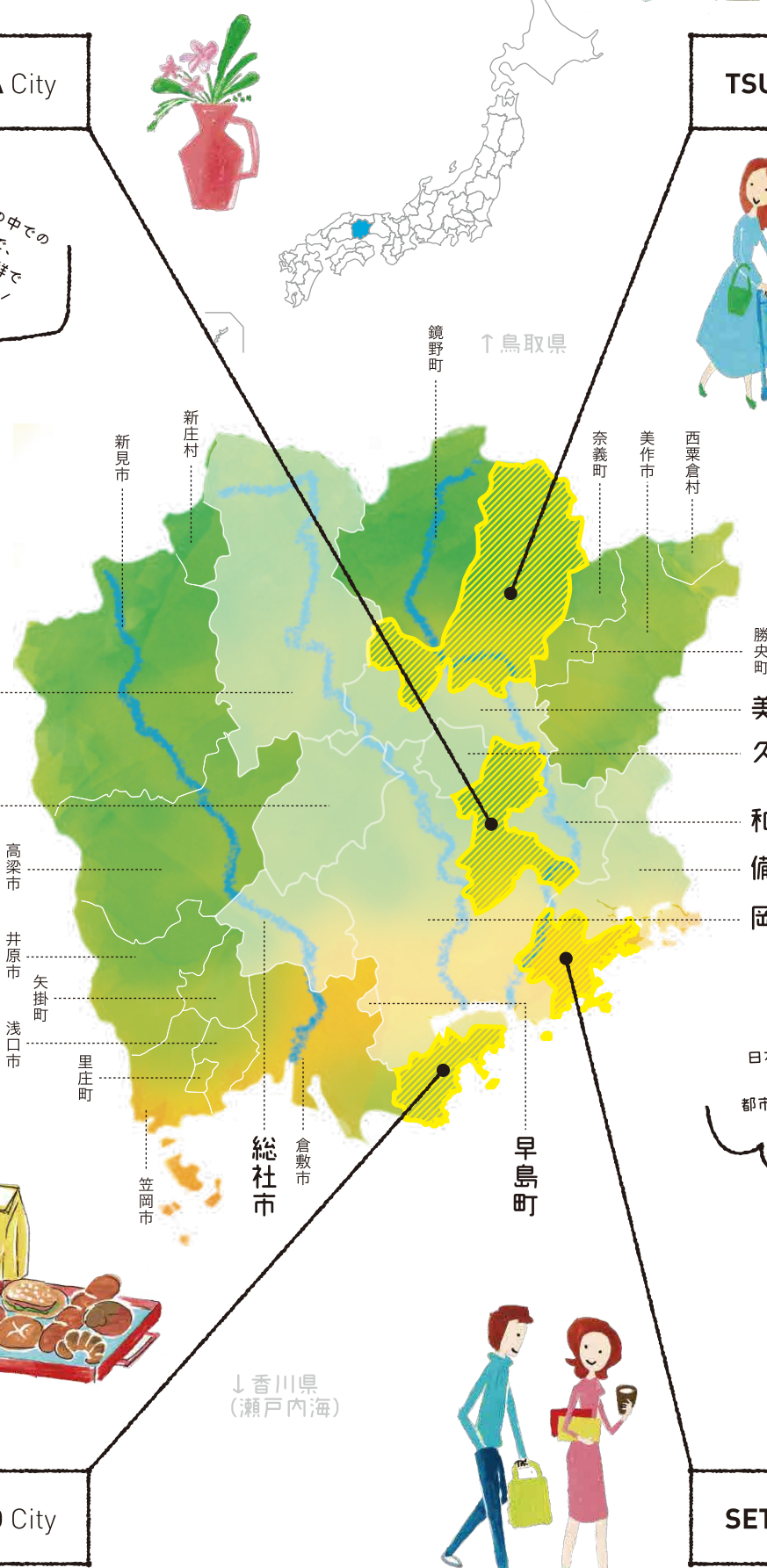
けがや病気の応急措置方法をはじめ、ストレスや悩みなどの心理的なことまで24時間相談できるフリーダイヤルを設けており、市民なら誰でも無料で医師などの専門家のアドバイスを受けられる。

赤磐市

AKAIWA City

恵まれた自然の中での農業が盛んで、地元でとれる新鮮で安心な食材が豊富！

移住に関する公式情報: [おかやま移住コンシェルジュ](#)



津山市

TSUYAMA City

県北で最大規模の10万人都市で、おいしいものもたくさん！歴史と伝統を自然が共存する美しいまち。

移住に関する公式情報: [津山産小羊「フスマ」](#)

1 まち暮らしと田舎暮らしの両方が楽しめる

2 歴史的まちなみが残る城下町と現代との融合

3 きめ細やかな就職支援と起業支援

4 良好な子育て環境

5 充実した医療環境

子育て世代包括支援センターでは専任の相談員が妊娠から出産、子育てまでの相談受付やサービスの紹介をしています。(津山市仕事・移住支援室/金井仁美さん)

幼児教育や保育環境が充実しており、特に児童館や親子広場、子育て支援センター、母親・親子クラブなど、親子の遊び場や交流の場が多く、転入者にも好評。また、保育園や幼稚園のほか様々な預かりサービスも充実している。

1 瀬戸内国際芸術祭の舞台都市

2 瀬戸内海沿岸の観光名所が多数点在

3 新しい商業施設・図書館やおしゃれなショップ

4 保育園の待機児童数ゼロなど子育て&若者主体のまちづくり

5 移住相談窓口「たまのIJUコンシェルジュ」

これまで多くの移住者の受入れに携わってきた「たまのIJUコンシェルジュ」が、豊富な知識と経験を活かして皆様をサポートします。移住のことならお任せください！(たまのIJUコンシェルジュ/森 美樹さん)

移住専門相談窓口となる「IJUコンシェルジュ」を設置して、移住の検討段階から移住後に至るまできめ細やかな支援体制を確保し、移住希望者の各々が抱える不安や悩みなどに親身に対応している。

玉野市

TAMANO City

穏やかな瀬戸内海と緑あふれる山々に囲まれ、温暖な気候と美しい自然のある暮らしやすい市。宇野港は四国の高松や島々への海の玄関口。

移住に関する公式情報: [たまのIJUコンシェルジュ](#)

瀬戸内市

SETOUCHI City

日本のエーゲ海とも称される美しい海に面する市。都市と田舎がほどよい距離感で共存する暮らし。

移住に関する公式情報: [瀬戸内と暮らす](#)

1 IJU(移住)コンシェルジュによる支援

2 海・山・平野の恵み豊かな食材

3 在宅勤務支援(テレワーク)

4 交通アクセスの良さ

5 子どもにやさしい教育・歴史・文化の新しい拠点 瀬戸内市民図書館「もみわ広場」

移住者を積極的に受け入れる地域のIJUコンシェルジュが移住者に寄り添いサポートします。(瀬戸内市企画課/松井隆明さん)

瀬戸内市は市内へ移住した人へ在宅勤務のあっせんや在宅勤務にかかる費用の一部を支援。田舎暮らしを満喫しながら仕事したい人や育児や介護と仕事を両立する人、副業が必要な人を応援している。



玉野市の食「たまの温玉めし」

玉野市の特産品であるアナゴを雑穀ごはんに入れて、しょう油と酒を絡め、甘辛く味付けした焼き飯で、半熟の温泉たまごをトッピングして食べる。2011年間催の「みなとオアシスSea級グルメ全国大会」で初代グランプリを受賞。

玉野市は、子育て支援総合窓口が開設され、認定こども園が開園するなど、妊娠前から高校卒業までをトータルでサポートする体制が整っている。移住コンシェルジュが常任し、いろいろな相談にのってくれるほか、おたのしみ住宅も整備されている。

高松や島々へ船で直通。瀬戸内国際芸術祭の会場としてもにぎわう玄関口。

column #3 岡山の住宅事情は？

岡山は中心部に近くても家賃が安いのが魅力。住まい探しのサービスも充実。

岡山市の民間賃貸住宅の家賃平均は、東京都区部の約半分というデータもあるほど安い。さらに車社会なので岡山市などの中心部を除いては、家賃に車1台分の駐車料金が含まれている物件も多い。また、県内の自治体と不動産業界団体が連携する「住まい探しの支援サービス」もある。



瀬戸内市の食「レモン」

瀬戸内の自然と太陽の恵みを受けて育ったレモンは、グリーンレモンとして10月頃から出荷。果汁が豊富なうえ、低農薬で安全・安心。人気の土産品「瀬戸内れもんサブレ(敷島堂)」にも使われている。最近では、県内企業の商品にも使用されるなど注目を集めている。

温暖な気候と豊かな自然に恵まれた田舎暮らしも都市暮らしもかなう多様なまち。県の東南部に位置し、岡山市へJR赤穂線約30分、車で約40分、高速道路を利用して大阪・広島、米子まで約2時間強、岡山駅から新幹線で東京まで約3時間強と交通アクセスに優れている。平成16年に牛窓町、邑久町、長船町の3町が合併して誕生。牛窓町は昔ながらの港町で、温暖な気候から農業が盛ん。邑久町は中心市街地があり、海・平野・山に面する多様性を持っている。長船町は「刀剣の里」として有名で、吉井川の恵みも豊か。市内にJAの直売所が5店舗あり、毎日新鮮な野菜が並ぶ。牛窓朝市やオーリーブガーデンマーケット、福岡の市といったマルシェも開催されていて、山と海の幸が手軽に手に入る日常がある。海が近いロケーションも人気だ。